

## 事業報告書

1 支援団体名	秋の収穫嘉瀬川ダム感謝祭実行委員会								
2 事業名称	嘉瀬川ダム上下流交流事業 秋の収穫嘉瀬川ダム感謝祭								
3 実施日時	平成 24 年 11 月 25 日（日）午前 11 時～午後 2 時 30 分								
4 実施場所	佐賀市富士町 嘉瀬川ダム富士しゃくなげ湖畔「水恵無限」碑前広場								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)*できるだけ詳細に</p> <p>午前 11 時より富士町無津呂淀姫神社宮司の導きにより神事を行った後、「秋の収穫 嘉瀬川ダム感謝祭」を行った。片渕弘晃実行委員長（白石町長）が、長年の悲願であった水が白石町に送られたことに感謝の辞の後、音成幸雄嘉瀬川ダム対策協議会会長が歓迎の辞を述べられた。立会人として参加いただいた国会議員（今村・大串衆議院議員、川崎参議院議員）の祝辞の後、白石町の文化的遺産である「鉦浮立」と「餅つき」を奉納して式典を終了した。</p> <p>式典終了後、富士町民、白石町民、その他立会人として参加いただいた方々とで交流会を行った。白石町と富士町の産物を使った数々の料理を「菖蒲御膳」の方々（富士町）が振る舞われる中、白石町に伝わる奇祭「餅すすり」の妙技が示され、参加者の目を釘づけにしていた。最後に片渕、音成の両主役と本感謝祭を企画運営した荒牧嘉瀬川交流軸理事長の 3 者が来年もここで会うことを期して握手をし、感謝祭を終了した。</p> <p>(事業実施効果)</p> <p>公共事業に対して厳しい目が向けられる中、地盤沈下を解決することを一つの目的として建設された嘉瀬川ダムのように、地域にとってどうしても必要な社会基盤があることを、ダムの受益者が地元に出向いて感謝の念を述べ、ダムで長年住み慣れた土地を去らざるを得なかった人々と交流することにより、社会に対して示すことができた。今後の公共事業推進の一助になるものと確信します。</p>								
6 参加内訳	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">総人数</td> <td style="text-align: right;">1 6 7 名</td> </tr> <tr> <td>（1）主催者参加</td> <td style="text-align: right;">8 名</td> </tr> <tr> <td>（2）日本人参加（（1）を除く）</td> <td style="text-align: right;">1 5 9 名</td> </tr> <tr> <td>（3）外国人参加（（1）を除く）</td> <td style="text-align: right;">0 名</td> </tr> </table>	総人数	1 6 7 名	（1）主催者参加	8 名	（2）日本人参加（（1）を除く）	1 5 9 名	（3）外国人参加（（1）を除く）	0 名
総人数	1 6 7 名								
（1）主催者参加	8 名								
（2）日本人参加（（1）を除く）	1 5 9 名								
（3）外国人参加（（1）を除く）	0 名								
7 今後の方針	平成 2 4 年度で解散することが予定されている嘉瀬川ダム対策協力会（白石町、小城市、佐賀市など）の後継組織が、嘉瀬川ダム感謝祭、上下流交流会などを企画・運営し、感謝祭の趣旨を継続する予定である。								

状況写真（「水恵無限」碑）



状況写真（富士しゃくなげ湖）



状況写真（片渚実行委員長感謝の辞）



状況写真（白石町鉦浮立の奉納）



状況写真（白石町「餅すすり」の奉納）



状況写真（来年を期して握手する関係者）

